

News Release

EY Japan

2025 年 7 月 8 日

EY Japan、「B.LEAGUE×まちづくり委員会」における先進事例集を公開 ～B クラブ×自治体連携の実践知を体系化～

- EY ストラテジー・アンド・コンサルティング(EYSC)は「B.LEAGUE×まちづくり委員会」の事務局として、全国の先進事例を有識者と共に整理・可視化する委員会の活動を支援
- 委員会で共有された実践例を事例集として集約。担当者の声や現場の工夫も収録し、単なる紹介にとどまらず、まちづくりを担当する自治体職員やクラブ関係者にとって実践のヒントとして役立つ内容となっている
- EYSC は今後も地域社会の経済循環の促進や社会課題の解決に貢献していく

EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:近藤 聡、以下 EYSC)は、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(東京都文京区、チェアマン:島田 慎二、以下 B.LEAGUE)と共に、公民連携によるまちづくり事業の先進事例集を作成しました。

「B.LEAGUE×まちづくり委員会」は、「B.LEAGUE のクラブ(以下 B クラブ)があり、そこにアリーナができることで街をどう変えていけるのか」をテーマに、スポーツがまちづくりに果たす役割を整理し、可能性を示すだけにとどまらず、どのように実行し、どのように継続させていくのかを明確にしていくことを目的に発足し、EYSC は事務局としてその活動を支援してきました。

これまで本委員会では、全国の先進的な取り組みを有識者と共に整理・可視化し、委員会内で共有してきました。今回、それらの参考となる実践例を自治体職員の声も交えて、よりわかりやすく紹介・解説するために、事例集としてまとめました。



B.LEAGUE クラブが公民連携で目指す

「B.LEAGUE × まちづくり」ビジョンマップ

— 感動立国の実現を目指し、B.LEAGUE クラブと夢のアリーナがもたらすワクワクする非日常を日常へ —

事例集



事例紹介(一部抜粋)

- **みんなのテーブル(秋田ノーザンハピネッツ)**
Bクラブで初めて常設の子ども食堂を運営。子どもたちにとっての安心できるサードプレイスを提供し、企業や行政を巻き込んだ福祉連携の新たなモデルを展開。
- **まちなか・スポーツ・にぎわい広場(M-SPO)(茨城ロボッツ)**
旧百貨店跡を再活用した都市型スポーツ拠点。バスケットボールやフットサル、カフェを通じて多世代が交わる新たなまちの賑(にぎ)わいを創出。官民連携による中心市街地再生のモデルに。
- **三河安城交流拠点・第三世代アリーナ構想(シーホース三河)**
負担付寄附により公共施設を整備する官民連携新モデル。制度設計段階から行政・地域と協議を重ね、交流型施設の実現に向けワークショップを通じて市民の声を反映。

本事例集が、これからまちづくりに取り組もうとするBクラブやスポーツ団体、自治体・企業の皆様にとって、議論の土台となり、まちづくりを共に推進する仲間を増やすきっかけとなることを期待しています。

EYSCは、B.LEAGUEが掲げる2050年に向けたVISION「感動立国」の実現に向け、今後もまちづくりの推進への取り組みをサポートしてまいります。

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 公共・社会インフラセクター パートナー 岡田 明のコメント:

「B.LEAGUEが地域の共通言語(プロトコル)となってさまざまなコミュニティが活性化し、まちづくりが進展していく。本事例集に凝縮された『アリーナの熱量が地域や暮らしに浸透していく姿』は、多くの地域において良き気づきをもたらしてくれるものだと考えています。EY JAPANはB.LEAGUEとともに日本を元気にしていく取り組みを引き続き推進して参ります」

事例集についてはこちらをご覧ください

https://www.ey.com/ja_jp/ey-sports-power-the-community/b-league-community-development-committee-case-study

〈EYについて〉

EYは、クライアント、EYのメンバー、社会、そして地球のために新たな価値を創出するとともに、資本市場における信頼を確立していくことで、より良い社会の構築を目指しています。データ、AI、および先進テクノロジーの活用により、EYのチームはクライアントが確信を持って未来を形づくるための支援を行い、現在、そして未来における喫緊の課題への解決策を導き出します。EYのチームの活動領域は、アシュアランス、コンサルティング、税務、ストラテジー、トランザクションの全領域にわたります。蓄積した業界の知見やグローバルに連携したさまざまな分野にわたるネットワーク、多様なエコシステムパートナーに支えられ、150以上の国と地域でサービスを提供しています。

All in to shape the future with confidence.

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、[ey.com/privacy](https://www.ey.com/privacy)をご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、[ey.com](https://www.ey.com)をご覧ください。

〈EYのコンサルティングサービスについて〉

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え(humans@center)、迅速にテクノロジーを実用化し(technology@speed)、大規模にイノベーションを推進し(innovation@scale)、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくは [ey.com/ja_jp/consulting](https://www.ey.com/ja_jp/consulting) をご覧ください。

《 本件に関するお問い合わせ 》

EY Japan BMC (Brand, Marketing and Communications)

japan.corporatecomm@jp.ey.com